

第7期計画より、新たに記載することとされた市における自立支援・重度化防止に関する取組目標について、実績及び改善策等は次のとおりである。

取組目標	評価項目・目標数値	実績	考察及び改善策												
① 介護・支援を要しない高齢者の増加	75歳～85歳の高齢者のうち、要介護・要支援の認定を受けていない人の割合 令和2（2020）年度：81.7% ↓ 令和5（2023）年度：82.5%	R4年度：81.7%	令和4年度の介護・支援を要しない高齢者（対象:75歳以上85歳未満）の割合は、令和3年度（81.5%）から微増となったものの、長期的にはほぼ横ばいの状況である。 75歳～85歳の高齢者のうち、要介護・要支援の認定を受けていない人の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>81.1%</td> <td>81.4%</td> <td>81.7%</td> <td>81.5%</td> <td>81.7%</td> </tr> </tbody> </table> 令和4年度もコロナの影響により、地域における住民主体の通いの場の活動の縮小・中止などが続いた。さらに、シニアリーダーや通いの場の担い手について、高齢化等により、担い手・後継者不足が深刻化している。一方、2区（花見川・若葉）に医療専門職を配置し、通いの場において、フレイルに関する健康教育や健康相談を実施するなど新たな取組みも行った。 今後も自立支援・重度化防止のため、介護予防に取り組んでいる方々を支援していくとともに、介護予防への参加に繋げる支援も並行して実施する。	年度	H30	R1	R2	R3	R4	割合	81.1%	81.4%	81.7%	81.5%	81.7%
年度	H30	R1	R2	R3	R4										
割合	81.1%	81.4%	81.7%	81.5%	81.7%										
② 持ち取り組むことによる観点の検証	低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合（対象65歳以上） 令和元（2019）年度：18.9% ↓ 令和5（2023）年度：22.0%	R4年度：20.5%	令和4年度の低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合は20.5%（暫定値）で、令和5年度目標値の22%を下回っており、目標を達成した。 引き続き、国保の特定健診を受診した65歳以上の高齢者の内、低栄養が疑われる高齢者を把握し、あんしんケアセンターと連携して個別支援を実施する他、令和3年度から、健診結果により、低栄養などの健康課題がある高齢者を抽出し、フレイル予防や介護予防事業の情報提供を行う取組を開始した。 また、令和4年度に花見川区と若葉区で開始した「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」では、通いの場での健康教育の中で、低栄養などの健康課題がある高齢者に対し、保健指導を行っており、令和6年度までに全区で実施する予定である。												
③ 介護住民主体の活動への参加促進	住民運営による通いの場への参加人数 令和元（2019）年度：20,999人 ↓ 令和5（2023）年度：21,600人	R3年度：15,606人（851団体） R4年度：17,926人（827団体） ※市の調査に一部未回答の団体あり。	長期化するコロナ禍により、通いの場の休止や、外出自粛等による参加者の利用控えが続いた。また、担い手不足や後継者問題なども加わり、地域活動が停滞傾向にある。今後は、アフターコロナを踏まえ、関係者間の連携・ネットワーク構築の強化を図り、地域の実情に応じた通いの場等の地域活動の再開・継続支援に取り組むとともに、フレイル予防の必要性の周知啓発により、参加促進を図る。												